

スターライトドリーム 設置調整ガイド

Planetarium Software – StarlightDream – Operation Guide

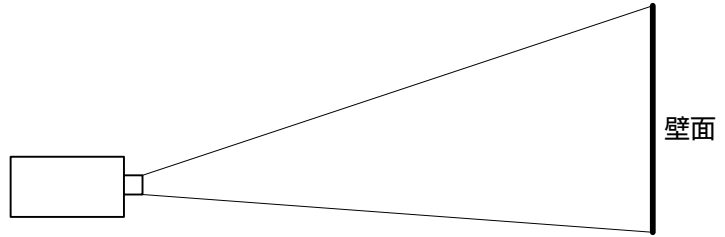


STEP1 機材の設置

スターライトドリームは、パソコンとプロジェクターを使って、星空を投影できるソフトウェアです。天井や壁などへ自由に投影できます。また、投影面までの距離を大きくすればするほど、投影される星空のサイズは大きくなります。

壁に投影する場合

のように、プロジェクターを投影する壁に向けて投射します。

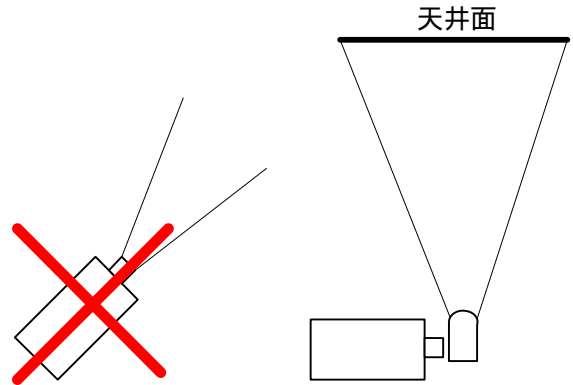


天井に投影する場合

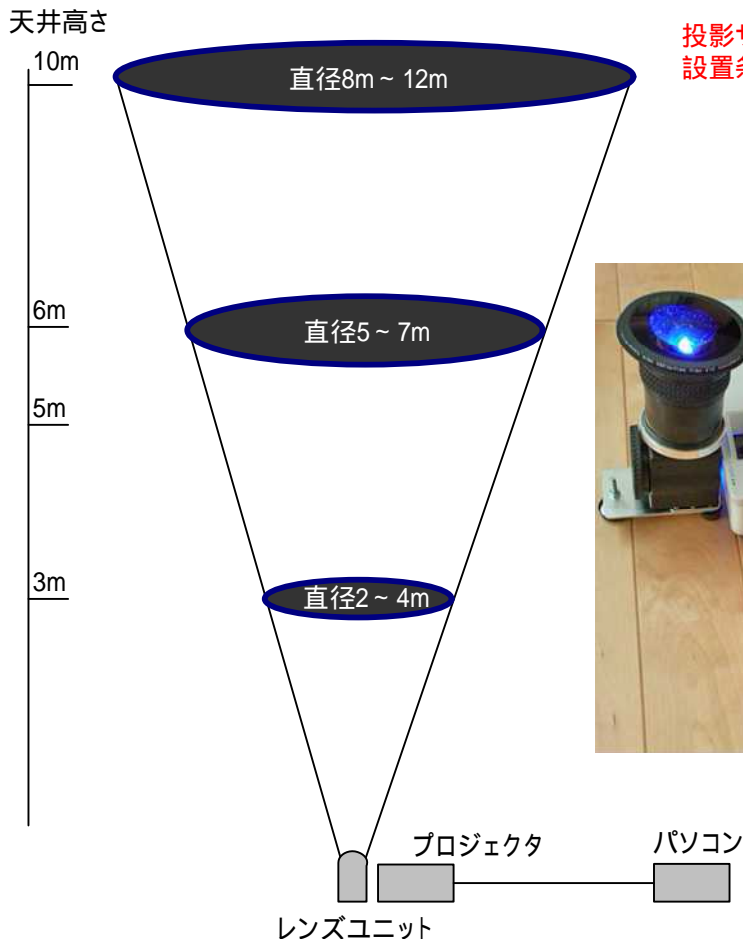
プロジェクターを無理に起こして急な角度に設置しないでください。故障やランプ破裂の恐れがあります。

のように、プロジェクターの投射光をレンズユニットで天井に反射させて投影します。

このとき、投射像の上下左右は反対になりますので、プロジェクター設置設定を「リア」にして正しく投影されるようにします。



投射距離による投影範囲(ご参考)

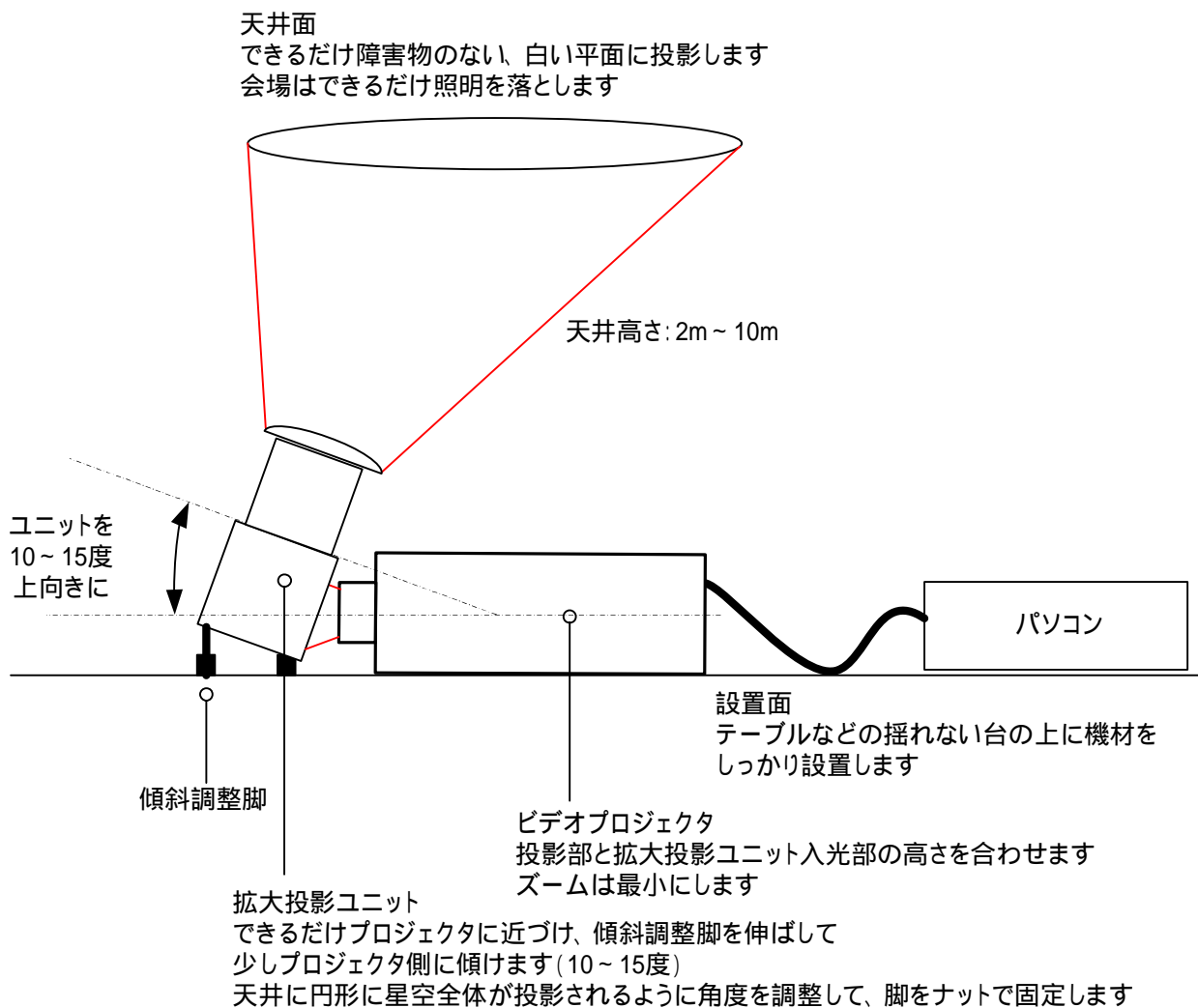


投影サイズはあくまで参考値です。設置条件によって変わります。



STEP2A レンズユニットの設置(タイプAを使うとき)

下図のようにレンズユニットをプロジェクタの前に置き、投影像を見ながらプロジェクターやユニットの角度、位置を調整します。

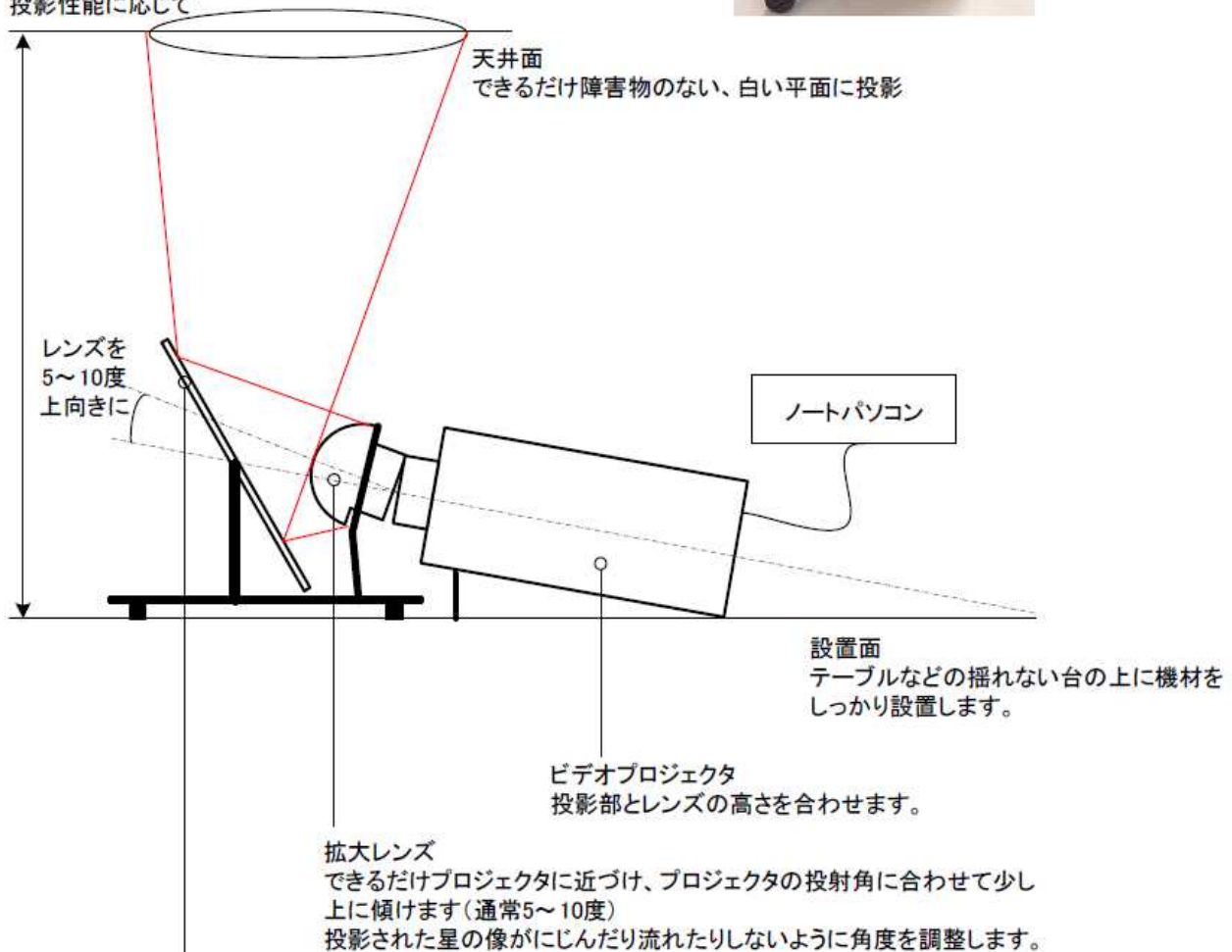


STEP2B レンズユニットの設置(タイプBを使うとき)

下図のように、レンズフレームを開いてレンズとミラーを設置します(レンズはしっかりとねじ込みます)
これをプロジェクタの前に置き、投影像を見ながら位置を調整します。



天井高さ: 2m~10m
使用プロジェクタの
投影性能に応じて



反射ミラー

任意の天井位置に投影できるよう角度を調節します。
反射光がレンズに当たって投影画像が欠けないように
します。

映像が大きすぎてミラーをはみ出してしまう場合は、
プロジェクタのズーム機能などで映像を小さくします。

天井に投影しない場合はミラーは不要です。
そのまま前方の壁に投影します。



STEP3 ソフトウェアのインストール

スターライトドリームはパソコンで動作するソフトウェアです(ビデオ映像ではありません)
パソコン上でマウス操作することによって、好きな日時や場所の星空を投影させたり、
いろいろな演出機能が使えるようになっていきます。

ソフトウェアはお客さま専用のダウンロードパッケージまたはインストールディスクで
お届けします。

パッケージまたはインストールディスク内にある「Setup.exe」をダブルクリックして、
ソフトウェアをインストールしてください。**試用版をお使いの場合は、先にアンインストール
しておいてください。**

(詳しくは、「はじめにお読み下さい」を参照してください)

お届けしたソフトウェアにはライセンス認証機能がついています。
ご利用のご契約期間を過ぎますとソフトウェアが起動しなくなります。

STEP4 機材の接続とマルチディスプレイ

ノートパソコンとプロジェクタを接続します。

パソコンの外部モニタ出力コネクタと、
プロジェクタのPC入力コネクタ(RGB)を
映像ケーブルで接続します。

接続して両方の電源を入ったら起動させ、
パソコン側でマルチディスプレイの設定をします。

マルチディスプレイとは、
パソコン画面に操作ウィンドウだけ
プロジェクタ投影画面に星空だけ

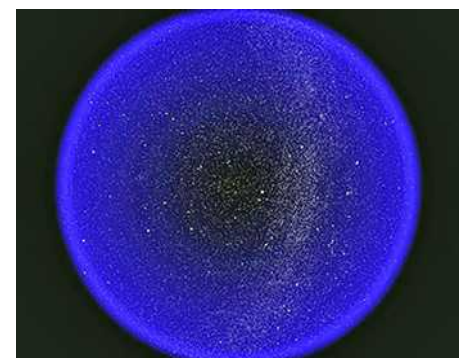
をそれぞれ表示させるための設定です。
マルチディスプレイの設定方法は、次ページを
ご覧ください。

**外部モニタ出力端子やマルチディスプレイ機能の
ないパソコンは使用できません。
お手持ちのパソコンをあらかじめご確認ください。**

映像ケーブル(Dサブ15ピンRGB)



パソコン側画面



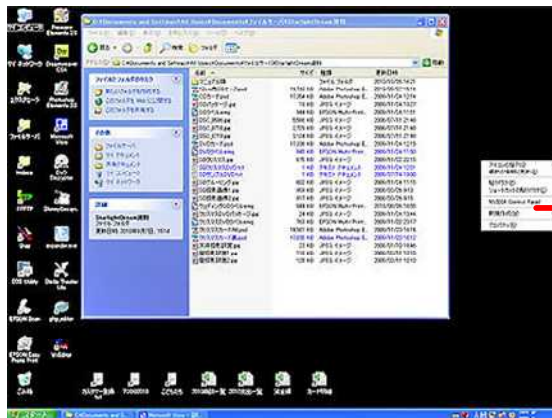
プロジェクタ側の投影画面

STEP5 マルチディスプレイの設定 (WindowsXPの場合)

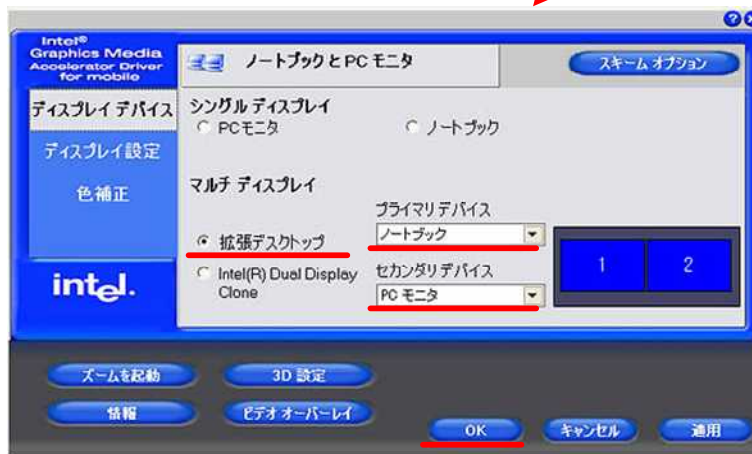
スターライトドリームの投影には、マルチディスプレイ設定が必要です。
デスクトップ画面(ウィンドウが表示されていないところ)でマウスを右クリックすると、右のようなメニューが表示されますので、「グラフィックプロパティ」「プロパティ」の双方の設定を下記の通り行ってください。

設定画面の表示方法や設定項目は、お使いのパソコンによって異なります。
詳しくはお使いのパソコンのマニュアルをご参照ください。

下記の設定は、ノートパソコンと 프로젝터를接続して両方の電源を入れた状態で行ってください。
外部出力が接続されていないかたり、電源が入っていない状態では、下記の設定は行うことができません。



デスクトップ上(ウィンドウのないところ)で右クリックしてメニューを表示



マルチディスプレイを設定

「拡張デスクトップ」を選択
「プライマリデバイス」は「ノートブック」を選択
「セカンダリデバイス」は「PC モニタ」を選択

OKをクリック
(変更の確認ウィンドウが出たら、そちらもOKをクリック)



プロジェクト解像度を設定
(モニタアイコンの2を選択)

「画面の解像度」で1280×1024を選択
「Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」をチェック

OKをクリック
(変更の確認ウィンドウが出たら、そちらもOKをクリック)

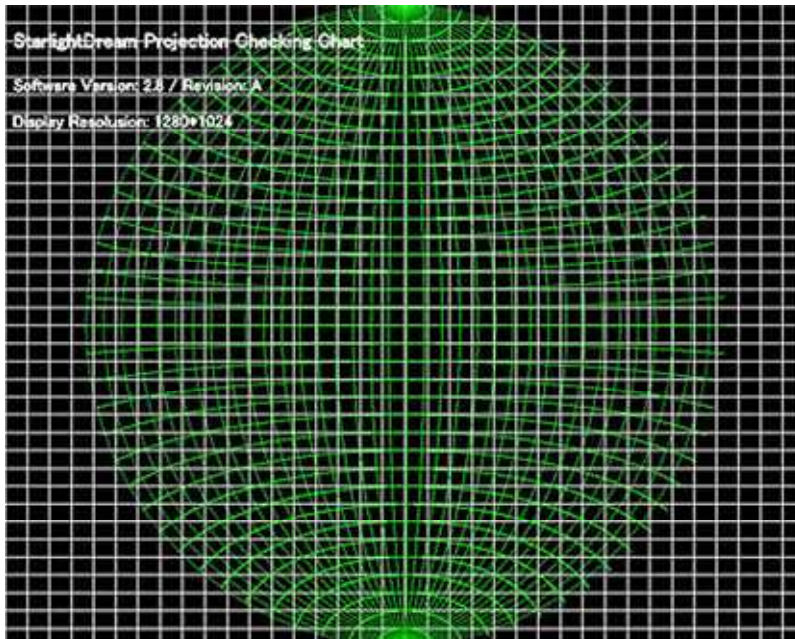
STEP6 プロジェクタ投影映像の調整

ここまでのステップがすべて完了したら、スターライトドリームソフトウェアを起動して、操作ウィンドウにある「チェック表示」ボタンを押してプロジェクタでチェック画面を投影します。

拡大投影ユニットを使っている場合は、狙った場所に画面全体が投影されるように位置や傾斜角度を調整します(拡大投影ユニット設置のページを参照)

プロジェクタ投影画面の一部が欠けている場合は、入力信号を再度検知させます。ほとんどのプロジェクタには自動で信号解像度を検知する機能があります。一度本体にある**入力自動検知ボタン**を押すか、**メニューから入力自動検知**を選びます。詳しくはプロジェクタのマニュアルを参照ください。

画面全体が投影できたら、投影映像のサイズやピントを合わせます。終了したらチェックチャートを消します。



次に操作ウィンドウで好きな日時、場所を設定して、星空を投影します。周囲の暗さに合わせて、プロジェクタの明るさやコントラストを調整します。(プロジェクタのマニュアル参照)できるだけ星がたくさんきれいに映るよう、明るさやコントラストは高めに設定します。ただし、あまり明るくしすぎて投影画面全体が白っぽくならないように注意します。

